

和歌山病院での臨床実習を終えて



辻田 晴也

今回、二日間実習させていただきお世話になりました。たくさんのことを吸収できて、良い経験になりました。

N95マスクはサージカルマスクと比べかなり苦しかったので、長時間つけるのは無理だと感じました。病棟ではさまざま工夫がされていることを知り、細かいことまでいろいろ行き届いていると感じました。

酸素療法のセミナーでは、実際に鼻カニューラや酸素マスクなどを体験させていただき、装着すること自体あまり心地の良いものではないことや、酸素流量を上げすぎると鼻に不快感や苦痛が生じることを体感できました。今回のように患者に生じる得る不快感や苦痛を少し体験できたことは、今後患者の気持ちに寄り添った医療を提供できるようにするうえで良い経験になったと思います。

胸部レントゲンのセミナーでは、大きな勉強になりました。胸部レントゲンは、これまで漠然と見てきましたが、意識が大きく変化しました。まずそもそもレントゲン自体どのような仕組みのものなのかをじっくり考え、正常ではどんなものが見えるかななどを深く理解することができました。

今まで、丸暗記でここまで這い上がってきましたが、それだけではダメだと痛感しました。今後さらなる精進が必要だと感じました。

最後になりましたが、大変お忙しいにも関わらず、とても貴重な機会を与えてくださった南方病院長、駿田副院長をはじめ、ご協力いただいた全てのスタッフの方に感謝申し上げます。